

X線検査について

1

当センターでは、
歯科治療における **診査・診断**のために
X線を使用しています。

2

当センターで撮影しているX線写真の種類

口内法X線(デンタル)



パノラマX線



頭部X線規格写真(セファロ)



胸部X線



3

口内法X線撮影 (デンタル)

3〜4本の歯を一枚のイメージングプレートで撮影します。
う蝕や歯周病の状態など、細かい情報を得るのに適した撮影方法です。

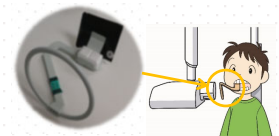
イメージングプレート



標準サイズ



小児用サイズ

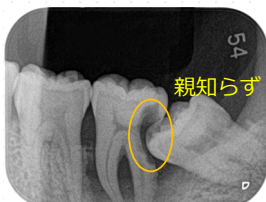


イメージングプレートを口の中に入れて撮影します。

4

口内法X線写真 (デンタル)

う蝕など



親知らずに押された前の歯の側面が吸収しています。

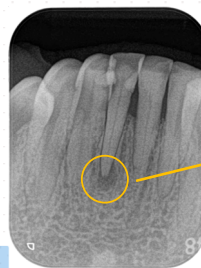


歯の内部には歯の神経に到達する大きなう蝕が、さらに歯と歯の間にも う蝕がみられます。

5

口内法X線写真 (デンタル)

歯の根の病気

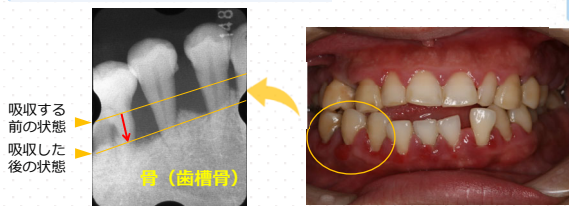


前歯の根の先に病巣がみられます。

6

口内法X線写真(デンタル)

歯周病

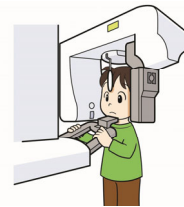


外からの見た目では分かりませんが、X線を撮ると 歯を支えている骨(歯槽骨)が溶けて吸収し、歯周病が進行していることが分かります。

7

パノラマX線撮影

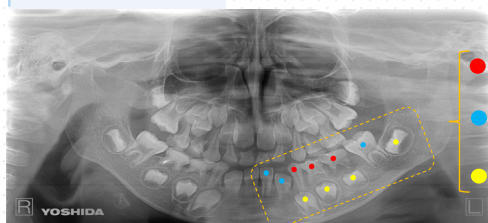
歯列全体を一枚の画像として撮影します



頭の位置を固定し、身体を静止した状態で装置が約14秒間 頭の周囲を回転して撮影します。

8

パノラマX線写真

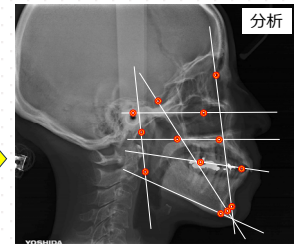


生え変わりの時期には、永久歯の有無や位置を確認することができます。

9

頭部X線規格撮影

頭部のX線写真です。



X線画像上の計測点●を線で結んで分析した上で、矯正治療方針の決定や経年的な成長の観察などを行います。

10

胸部X線撮影

全身麻酔法での治療前に、術前検査として撮影します。肺炎や心肥大の有無、気管・気管支の偏位、側弯の状態などを歯科麻酔医が確認しています。

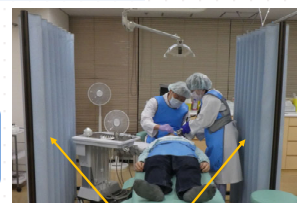


11

口内法X線撮影(デンタル)のようす (診療室での撮影)



照射線量の少ないデジタルX線撮影装置を使用しています。



X線室での撮影が困難な場合には、周囲への放射線防御に十分配慮した上で、ポータブル式の撮影装置を使用して撮影します。

12

放射線の線量は？

撮影の際の線量は、年間の自然放射線量に比べて非常に少ないものとなっています

日本での自然放射線
年間 **2.1ミリ**シーベルト

パノラマX線
1回 **0.03ミリ**シーベルト



デンタルX線
1枚 **0.01ミリ**シーベルト



(参考) 公益社団法人東京都歯科医師会 発行
「歯科治療のX線撮影は安全です ～放射線と歯科X線撮影のお話～」

13

センターでは、安全には十分に配慮して
正確な診査、診断のためにさまざまなX線撮影を
実施しています。

14